



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要				
建物名称	(仮称)沼津大岡計画(分譲マンション)	BEE	1.4	BEEランク B+ ★★

2. 重点項目への取組み度				
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.4 /5		ふつつ	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.3 /5		ふつつ	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5 /5		がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.9 /5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上
			がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点	3.4
	"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④高耐久な外装材の採用 ④高寿命な内装材の採用 ④高寿命な設備配管の採用	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 3 3.2 ⑥	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦外皮性能が日本住宅性能表示基準の等級4相当	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2 ⑩	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪自動水栓と節水型便器の採用 ⑬有害物質を含まない建築材料の採用	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3 1 2 2.2 ⑮	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	3.3
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯建築基準法の1.25倍の耐震性 ⑰設備機器の耐震性を高めている	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)	得点	2.5
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲ゆとりのある階高の確保 ⑲ボイドスラブによるフラットな床の確保	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (⑳地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3.1 ⑳	⑳ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.9
	■室外環境(敷地内)対策 (①生物環境の保全と創出/②まちなみ・景観への配慮/③敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 2 3 3.2 ⑥	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (④温熱環境悪化の改善)	LR-3 2 2.2 ④	④ 温熱環境悪化の改善

2.4 信頼性						2.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備	D				3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	D				2.0	0.20	-	-	
3	電気設備	D				3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	D				4.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	D				2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性						3.0	0.30	3.4	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり						-	-	3.8	0.50	
1	階高のゆとり		U		階高=3,010	-	-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		U			-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり						-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性						3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出		G		N		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				N		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				U		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		G		N		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		G			日本住宅性能表示基準の等級4相当	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用		G				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					[BEI][BEI _r 0.73	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						-	-	-	-	
4.1	モニタリング	G				-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	G				-	-	-	-	
集合住宅の評価						3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	G				3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	G				3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護						3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水		G				3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	G				3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	G				-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						2.5	0.60	-	-	2.5
2.1	材料使用量の削減	G				3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	G				3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	G			-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	G			-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	G				2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	G				3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		G			サッシ用シーリング材、打継目地用シーリング材、錆	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70	-	-	
1	消火剤	G				-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	G				3.0	0.50	-	-	
3	冷媒	G				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		G				3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮						3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止						3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		G		N		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減					3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制				駐輪場、駐車場、駐車場導入路の位置や形状	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制					4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮						3.3	0.33	-	-	3.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
1	騒音					3.0	1.00	-	-	
2	振動					-	-	-	-	
3	悪臭					-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制					1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						4.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				光害対策の実施、広告物照明対策の実施	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				反射光の発生を低減させる外壁	4.0	0.30	-	-	

CASBEE静岡の重点項目の得点計算表

“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)			
	得点	スコア	重み
【1】エネルギー対策 LR1 エネルギー	1.4	4.2	0.33
【2】資源・マテリアル対策 LR2/1.1.1 節水	1.0	3.0	0.33
【3】敷地外環境対策	1.0	3.0	0.34
【3】敷地外環境対策 LR3/1. 地球温暖化への配慮	1.5	3.0	0.50
LR3/2.2 温熱環境悪化の改善	1.5	3.0	0.50
合計=	3.0		
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)			
	得点	スコア	重み
【1】サービス性能対策 Q2/2.1 耐震・免震	1.9	3.8	0.50
Q2/2.4 信頼性	1.4	2.8	0.50
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)			
	得点	スコア	重み
【1】サービス性能対策	1.5	3.0	0.50
【2】室外環境(敷地内)対策 Q3/3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	2.0	0.50
【1】サービス性能対策 Q2/1.1.3 バリアフリー計画	3.0	3.0	1.00
Q2/3.1 空間のゆとり	0.0	0.0	0.00
合計=	3.0		
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)			
	得点	スコア	重み
【1】室外環境(敷地内)対策	1.4	2.7	0.50
【2】敷地外環境対策 LR3/2.2 温熱環境悪化の改善	1.5	3.0	0.50
【1】室外環境(敷地内)対策 Q3/1. 生物環境の保全と創出	0.7	2.0	0.33
Q3/2. まちなみ景観への配慮	1.0	3.0	0.33
Q3/3.2 敷地内温熱環境の向上	1.0	3.0	0.34
合計=	2.7		